

【 まちの将来像6 】

心がけから行動へ
みんなで創る環境にやさしいまち

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-1	いごちの良いい生活環境をたもつ
施策の方向性	大気・水環境等の環境監視による環境の把握に努めるとともに、事業者に対する指導や公共下水道・公設浄化槽の整備による環境の保全対策を進めます。また、環境美化などについての意識啓発を進め、市民一人ひとりのマナーが向上し、いごちの良いい生活環境を保ちます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	健康に過ごすことができる生活環境の保全
	2	新たな環境課題への対応
	3	快適環境の保全
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	6-1-1		健康に過ごすことができる生活環境の保全					
1	事業名	大気汚染防止法等関連事務事業						
	目的及び概要	工場・事業場の事業活動や建築物の解体等に伴うばい煙、揮発性有機化合物及び粉じんの排出を規制する等により、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。	H29年度	内容 ①届出の受理及び審査 ②立入調査 ③特定粉じん等測定業務委託	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H30年度	継続
					H31年度	継続		
					H32年度	継続		
方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.8	うち市負担分(百万円)	0.8	H33年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト
2	事業名	水質汚濁防止法等関連事務事業						
	目的及び概要	工場・事業場からの排水及び地下水浸透水について規制を行なうほか、生活排水対策を講じる等により、公共用水域及び地下水の水質の汚濁の防止を図り、もって市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。	H29年度	内容 ①届出の受理及び審査 ②立入調査 ③排水測定 ④指導・助言 ⑤検査用機器の購入	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H30年度	継続
					H31年度	継続		
					H32年度	継続		
方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	2.6	うち市負担分(百万円)	2.6	H33年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト
3	事業名	下水道施設(管渠)改良事業(ハード)						
	目的及び概要	老朽化した管渠等の損傷による機能停止及び事故発生を未然に防ぐため、対策内容や実施時期を定めた「下水道長寿命化計画」に基づき、対策事業を実施する。	H29年度	内容 ①長寿命化計画に基づく管渠の改築・更生工事 ②人孔蓋改築工事	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H30年度	継続
					H31年度	継続		
					H32年度	継続		
方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	130.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H33年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	下水企業	事業区分	ハード

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	下水道施設(管渠)改良事業(ソフト)										
	目的 及び 概要	老朽化した管渠等の損傷による機能停止及び事故発生を未然に防ぐため、計画的に点検調査を実施し、対策内容や実施時期を定めた「下水道長寿命化計画」を策定する。	H 29 年度	内容 ①人孔蓋調査・点検 ②管路調査・点検							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	-	事業費 (百万円)	-	うち市負担分 (百万円)	-	H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	下水企業	事業区分	ソフト				
5	事業名	下水道施設(ポンプ場)改良事業(ハード)										
	目的 及び 概要	公共下水道ポンプ場の適正な運転稼働を保つため、電気・機械設備の更新計画等を定めた「下水道長寿命化計画」に基づき、対策事業を実施する。	H 29 年度	内容 【大池ポンプ場】 ①長寿命化計画に基づく電気設備等の対策工事							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	520.0	うち市負担分 (百万円)	237.0	H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	下水企業	事業区分	ハード				
6	事業名	下水道施設(ポンプ場)改良事業(ソフト)										
	目的 及び 概要	公共下水道ポンプ場の適正な運転稼働を保つため、点検調査を実施し、電気・機械設備の更新計画等を定めた「下水道長寿命化計画」を策定する。(平成30年度から)	H 29 年度	内容 平成30年度の施設調査の実施に向けて、その準備を行う。							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	-	事業費 (百万円)	-	うち市負担分 (百万円)	-	H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	下水企業	事業区分	ソフト				
7	事業名	公共下水道整備事業(汚水)										
	目的 及び 概要	公共用水域の水質保全、浸水防除、水洗化による公衆衛生の向上に資するため、公共下水道の整備を進める。公共下水道計画区域内における下水道施設の整備促進を図る。	H 29 年度	内容 ①整備工事費 ②測量設計費 ③工事関係負担金							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	74.5	うち市負担分 (百万円)	0.1	H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	下水道総務課	会計区分	下水企業	事業区分	ハード				

8	事業名	特定環境保全公共下水道整備事業													
	目的 及び 概要	公共用水域(安威川ダム湖)の水質保全、水洗化による公衆衛生の向上に資するため、公共下水道の整備を進める。 特定環境保全公共下水道区域内における下水道施設の整備促進を図る。	H 29 年度	内 容	①整備工事費 ②測量設計費 ③工事関係負担金	事業の方向性 の見込み (対前年度比)		H30 年度	完了	H31 年度	-	H32 年度	-	H33 年度	-
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	33.6	うち市負担分 (百万円)	0.3				
						担当課	部名	建設部	課名	下水道総務課	会計区分	下水企業	事業区分	ハード	
9	事業名	合併処理浄化槽整備事業													
目的 及び 概要	公共用水域の水質保全、水洗化による公衆衛生の向上に資するため、合併処理浄化槽の整備を進める。 合併処理浄化槽区域内における生活排水施設の整備促進を図る。	H 29 年度	内 容	①整備工事費 ②測量設計費 ③工事関係負担金	事業の方向性 の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続	H31 年度	継続	H32 年度	継続	H33 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	71.6	うち市負担分 (百万円)	0.3					
					担当課	部名	建設部	課名	下水道総務課	会計区分	下水企業	事業区分	ハード		
10	事業名	騒音・振動規制法等関連事務事業													
目的 及び 概要	工場・事業場の事業活動や建設工事に伴い発生する騒音及び振動を規制することにより、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。	H 29 年度	内 容	①規制基準の設定 ②設置届出等の受理及び審査 ③特定建設作業に係る届出の受理及び審査 ④立入調査 ⑤拡声器の使用及び深夜における音響機器の使用に関する規制	事業の方向性 の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続	H31 年度	継続	H32 年度	継続	H33 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0					
					担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
11	事業名	公害苦情・相談事務事業													
目的 及び 概要	大気・水質・騒音・振動などに関し、公害苦情及び相談を受けたときは、関係課と連携し、発生源事業所に対する改善指導を行い、良好な生活環境を保全する。	H 29 年度	内 容	①苦情・相談の受付 ②関係課との連携 ③現場確認 ④原因調査 ⑤苦情・相談者に報告	事業の方向性 の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続	H31 年度	継続	H32 年度	継続	H33 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0					
					担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	環境監視事務事業											
	目的及び概要	市内の大気汚染、水質汚濁、騒音の状況を把握するため、大気常時監視や酸性雨調査、河川及び地下水の水質測定、一般環境及び道路沿道の騒音測定を行う。また、オキシダント緊急時等の際には、関係機関に通報連絡する。			H29年度	内容	①測定局の維持管理 ②水質測定業務における水生生物モニタリング調査において、調査地点を拡大し、精度の向上を図る ③一般地域及び主要幹線道路の騒音測定 ④測定結果の評価及び公表			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	10.0	うち市負担分(百万円)	10.0	H30年度	臨時拡充
												H31年度	縮小
												H32年度	臨時拡充
												H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
13	事業名	環境アセスメントに関する事務事業											
	目的及び概要	環境に著しい影響を及ぼすおそれのある開発事業の実施に当たり、事業が環境の保全に十分に配慮して行われるよう、環境影響評価の実施や各方面からの意見の反映を指導する。			H29年度	内容	①開発者及び市内関係課との調整 ②法に基づく環境影響評価が行われる場合、事業者に対し意見を述べ、国、府と連絡 ③府条例に基づく環境影響評価が行われる場合、府に対し意見書の提出			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H30年度	継続
												H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	6-1-2	新たな環境課題への対応											
14	事業名	PRTR法等関連事務事業											
	目的及び概要	「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づき、特定化学物質の環境への排出量等の届出を事業者が行い、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する。			H29年度	内容	①届出の受理及び審査 ②国への届出 ③結果の公表 ④施設の状況等に関する報告要求及び立入検査 ⑤事業所における化学物質管理計画書の作成を促進します。			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H30年度	継続
												H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
15	事業名	ライフサイエンス環境保全対策事務事業											
	目的及び概要	遺伝子組換え実験等を行うライフサイエンス系施設設置者に対し必要な規制を行うことで、地域住民の健康を守り、良好な生活環境を保全する。			H29年度	内容	①施設設置予定者との協議 ②専門委員会の開催 ③協定の締結及び運用 ④立入調査			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.2	うち市負担分(百万円)	0.2	H30年度	継続
												H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組		6-1-3		快適環境の保全					
16	事業名	路上喫煙防止対策事業							
	目的 及び 概要	H 29 年 度	内 容	①路上喫煙の実態を把握するための調査を実施 ②職員、委託業者による巡回指導や市主催のイベント等において啓発活動の実施 ③市内各団体や大学と連携し、喫煙マナーの啓発を実施 ④(仮称)JR総持寺駅周辺等の路上喫煙禁止地区及び喫煙場所の指定を検討			事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
				H30 年度	拡充			H31 年度	継続
				H31 年度				H32 年度	継続
				H33 年度	方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	5.8	うち市負担分 (百万円)
担当課	部名	市民文化部	課名	市民生活相談課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	
17	事業名	動物愛護推進事業							
	目的 及び 概要	H 29 年 度	内 容	①猫の飼い主等に対する避妊・去勢手術費の補助 ②所有者不明猫活動団体の育成 ③犬の飼い方教室の実施			事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
				H30 年度				H31 年度	継続
				H31 年度				H32 年度	継続
				H33 年度	方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	1.1	うち市負担分 (百万円)
担当課	部名	市民文化部	課名	市民生活相談課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	
18	事業名	ごみ屋敷等対応事務事業							
	目的 及び 概要	H 29 年 度	内 容	①市内横断的な対応を図り、問題解決に努める ②いわゆる「ごみ屋敷」支援連絡会の設置・運営			事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
				H30 年度				H31 年度	継続
				H31 年度				H32 年度	継続
				H33 年度	方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)
担当課	部名	市民文化部	課名	市民生活相談課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	
19	事業名	不法屋外広告物対策等環境美化事業(資源循環課分)							
	目的 及び 概要	H 29 年 度	内 容	①茨木市不法屋外広告物等撤去対策協議会総会の開催 ②市内一斉清掃(6月) ③街頭キャンペーン(6月、9月)			事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
				H30 年度				H31 年度	継続
				H31 年度				H32 年度	継続
				H33 年度	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.6	うち市負担分 (百万円)
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	

20	事業名	不法投棄防止・対応事業										
	目的 及び 概要	不法投棄物を撤去することにより、清潔で美しい地域環境を保全する。	H 29 年度	内容	①市街地はもとより、不法に投棄される事が多い山間部を中心にパトロールの実施 ②大阪府(産業廃棄物の不法投棄)と警察と連携した啓発や対策 ③常時、パトロール車両で不法に投棄された廃棄物の収集 ④適宜、啓発看板設置						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.3	うち市負担分(百万円)	0.2	H30年度	継続
										H31年度	継続	
										H32年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
21	事業名	ごみ集積場所美化事業										
	目的 及び 概要	ごみ集積場所においてごみが散乱している状況にあるため、パトロール車で啓発を行い、清潔で美しい地域環境を保全する。	H 29 年度	内容	①ごみが散乱している集積場所を中心にパトロールの実施 ②適正に排出されるよう指導を行う ③適宜、啓発看板設置						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.3	うち市負担分(百万円)	0.3	H30年度	継続
										H31年度	継続	
										H32年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
22	事業名	不法屋外広告物対策等環境美化事業(環境事業課分)										
	目的 及び 概要	不法広告物を迅速に撤去するとともに掲示者への指導を行う事によって、美化意識の啓発・向上を図り美しいまちを保全する。	H 29 年度	内容	①常時、パトロール車両で違法屋外広告物の簡易除却をおこなう						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.1	うち市負担分(百万円)	0.1	H30年度	継続
										H31年度	継続	
										H32年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-2	バランスのとれた自然環境をつくる
施策の方向性	みどりを育む取組や生態系への配慮を推進するとともに、身近な「まちの緑」「農地」「里山」「水辺」を保全し、自然とふれあう機会の創出に取り組み、人の生活と自然とのバランスのとれた自然環境を創ります。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	都市とみどりの共存
	2	★ 自然資源の利用の推進
	3	生物多様性の保全
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	6-2-1	都市とみどりの共存														
1	事業名	緑の基本計画推進事業														
	目的及び概要	緑の将来像の実現に向けて、緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する目標や取組方針、施策等を定め、総合的かつ計画的に実施する。 【関連取組:5-5-2 都市におけるみどりの形成】						H29年度	内容	①緑の相談事業 27万円 ②情報発信ツールの作成 ③緑化講習会の検討 ④緑化イベントの検討			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
									方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.3	うち市負担分(百万円)	0.3	H30年度	継続
															H31年度	拡充
															H32年度	継続
															H33年度	拡充
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						
2	事業名	ヒートアイランド対策事業														
	目的及び概要	ヒートアイランド対策や環境意識の高揚のため、市内の学校等においてみどりのカーテンを設置するとともに、市民・事業者の取り組みに支援を行う。						H29年度	内容	①説明会の実施 ②苗の配布			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
									方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	1.2	うち市負担分(百万円)	1.2	H30年度	継続
															H31年度	継続
															H32年度	継続
															H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						
3	事業名	緑化推進事業														
	目的及び概要	都市緑化の推進により、緑豊かで潤いのある街づくりを図るため、公園及び民有地等に市と地域住民との協働で花と緑の輪を広げ、また、住宅等への生垣設置に加え、接道部での緑化や、緑化が困難な場合は壁面緑化についても助成制度を検討する。						H29年度	内容	①花と緑の街角づくり推進事業 732万円 ②民有地緑化助成事業 110万円			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
									方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	8.4	うち市負担分(百万円)	8.4	H30年度	継続
															H31年度	継続
															H32年度	継続
															H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	安威川河川敷クリーンキャンペーン推進事業										
	目的 及び 概要	親しみとるおいのある水辺空間として広く市民に親しまれている安威川河川敷の環境美化活動を、地域住民と行政が一体となって推進することにより、良好な水辺環境の保全と向上を図る。	H 29 年度	内 容	①大阪府と市が共同で主催、地元自治会や関係団体の協力を得て安威川河川敷の清掃活動を実施する						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H30 年度	継続
											H31 年度	継続
								H32 年度	継続			
								H33 年度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
5	事業名	親水水路整備事業										
	目的 及び 概要	市内中心部を流れる高瀬川・小川親水水路及び南部地域を流れる島地区せせらぎ水路について、適正な維持管理を実施し、市民に憩いとるおいのある水辺空間の創出に努める。	H 29 年度	内 容	①高瀬川・小川については直営にて維持管理 ②島地区についてはシルバー人材センターに委託						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.1	うち市負担分 (百万円)	1.1	H30 年度	継続
											H31 年度	継続
								H32 年度	継続			
								H33 年度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	一般	事業区分	ハード				
6	事業名	水辺の保全事業										
	目的 及び 概要	公園内の池と周辺の環境・修景を保持する為に、閉鎖された水質の向上を図る。	H 29 年度	内 容	①水質向上の為の機器の設置(耳原公園・あさぎ里山公園)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.8	うち市負担分 (百万円)	1.8	H30 年度	継続
											H31 年度	継続
								H32 年度	継続			
								H33 年度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ハード				
7	事業名	庁舎屋上緑化事業										
	目的 及び 概要	ヒートアイランド対策の一環として、庁舎屋上の緑化による屋根焼け防止をすることで、空調効率を高め、省エネルギー化を推進し、温室効果ガス排出のより一層の削減を図る。	H 29 年度	内 容	【既設本館南屋上】 維持管理 20万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H30 年度	継続
											H31 年度	継続
								H32 年度	継続			
								H33 年度	継続			
担当課	部名	総務部	課名	総務課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

取組		6-2-2 ★ 自然資源の利用の推進													
8	事業名	◎ 市民参加型森林保全事業													
	目的 及び 概要	市民参加型の里山保全を推進することにより、美しい里山景観の復元や水源涵養能力など森林の持つ多面的機能を発揮させるほか、森林ボランティアを育成し、市民参加型の里山保全を推進する。 【関連事業:6-2-3 生物多様性の保全】	H 29 年 度	内 容 ①森林サポーター養成講座実施委託料及び実施に要する消耗品や保険料	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H30年度	継続	事業費(百万円)		1.9	うち市負担分(百万円)	1.7	H31年度	継続
					H32年度	継続			H33年度	継続					
					方向性(対前年度比)	継続			H33年度	継続					
					会計区分		一般		事業区分		ソフト				
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分		一般		事業区分		ソフト				
9	事業名	茨木市里山センター運営事業													
	目的 及び 概要	市民参加による自主的な里地里山の保全活動を推進するため森林ボランティアの人材育成と保全活動の拠点施設としての役割を持つ里山センターを、指定管理者制度により運営を行う。	H 29 年 度	内 容 ①指定管理料及び指定管理者が行う事業として市が指定した事業	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H30年度	継続	事業費(百万円)		9.0	うち市負担分(百万円)	9.0	H31年度	継続
					H32年度	継続			H33年度	継続					
					方向性(対前年度比)	継続			H33年度	継続					
					会計区分		一般		事業区分		ソフト				
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分		一般		事業区分		ソフト				
10	事業名	【再掲】林業推進事業													
	目的 及び 概要	公益的な機能を有する森林の健全な管理育成と、都市と農村の交流の場として森林空間の提供を行うほか、林業者団体が実施する森林整備作業に対し支援を行う。 【関連事業:5-1-1 農林業の振興】	H 29 年 度	内 容 ①林業者団体等が実施する森林整備事業への補助金を交付 ②森林病虫害対策の実施 ③森林整備に必要な林道の維持経費	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H30年度	継続	事業費(百万円)		(14.4)	うち市負担分(百万円)	(13)	H31年度	継続
					H32年度	継続			H33年度	-					
					方向性(対前年度比)	継続			H33年度	-					
					会計区分		一般		事業区分		ソフト				
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分		一般		事業区分		ソフト				
11	事業名	【再掲】環境フェア開催事業													
	目的 及び 概要	本市の環境の現状などをわかりやすく提供し、これからの市域環境を市民とともに保全・創造する契機とするため、市民団体や事業者の参画のもと、市民一人ひとりが取り組むべきことを、催し物などを通じて分かりやすく紹介し、環境への理解を深める場とする。市が、事業実施に伴う会場設営費や運営経費などを負担する。 【関連取組:6-3-1 省エネルギーの実践及び普及啓発】	H 29 年 度	内 容 ①集客力の乏しいクリエイティブセンター3階のコーナーを廃止し、中央公園北グランド及びクリエイティブセンター1・2階部分で実施 ②3階部分のコーナーについては、中央公園北グランドにテントを設置し、出展希望を募る ③実施日については、農業祭と同日開催し、より効果的な集客を目指す。	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H30年度	継続	事業費(百万円)		(5.76)	うち市負担分(百万円)	(5.76)	H31年度	縮小
					H32年度	継続			H33年度	継続					
					方向性(対前年度比)	縮小			H33年度	継続					
					会計区分		一般		事業区分		ソフト				
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分		一般		事業区分		ソフト				

取組	6-2-3		生物多様性の保全									
12	事業名	生きもの発見ガイドブックの作成										
	目的及び概要	市内の様々な環境資源(動植物)の状況を、子どもを中心とする市民が観察する際に活用できる「生きもの発見ガイドブック」を作成し配布することで、生物多様性の保全に向けた環境意識の向上を図る。		H29年度	内容	①環境資源調査の結果を活用した生きもの発見ガイドブックの作成・配布を行う。			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
									H30年度	継続		
									H31年度	継続		
									H32年度	継続		
					方向性(対前年度比)	新規	事業費(百万円)	2.3	うち市負担分(百万円)	2.3	H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
13	事業名	河川体験型環境教育事業										
	目的及び概要	子どもと保護者が実際に川に入り、水生生物を捕獲・観察・同定することで、生物多様性など環境意識を向上させる。		H29年度	内容	①市民団体に委託し事業の実施(講師との調整は市民団体が行う)			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
									H30年度	継続		
									H31年度	継続		
									H32年度	継続		
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.6	うち市負担分(百万円)	0.6	H33年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
14	事業名	ホテル再生事業										
	目的及び概要	公園における自然環境回復として、ホテルの生息環境を整え、保護し、生物と触れ合う機会を創出することで、自然環境や生物多様性に対する意識を向上させる。		H29年度	内容	①ホテル生息環境管理 106万円 ②ホテル生息環境整備 100万円			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
									H30年度	縮小		
									H31年度	継続		
									H32年度	継続		
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	2.1	うち市負担分(百万円)	2.1	H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
15	事業名	【再掲】市民参加型森林保全事業										
	目的及び概要	市民参加型の里山保全を推進することにより、美しい里山景観の復元や水源涵養能力など森林の持つ多面的機能を発揮させるほか、森林ボランティアを育成し、市民参加型の里山保全を推進する。 【関連事業:6-2-2 自然資源の利用の推進】		H29年度	内容	①森林サポーター養成講座実施委託料及び実施に要する消耗品や保険料			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
									H30年度	継続		
									H31年度	継続		
									H32年度	継続		
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(1.9)	うち市負担分(百万円)	(1.7)	H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取組	6-2-3	生物多様性の保全						
E1	事業名	環境資源調査事業(H28年度事業完了)						
	目的及び概要	市内の様々な環境資源(動植物)の状況を調査、把握し、今後の生物多様性の保全に関する取り組みの基礎データとして作成した。						
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-3	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす
施策の方向性	市が率先して省エネルギー対策を行うとともに、市民や事業者と連携して、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの推進に努めます。また、情報交換の場を通じてさまざまな主体が連携し、新たな取組の輪を広げ、ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざします。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	省エネルギーの実践及び普及啓発
	2	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	6-3-1		省エネルギーの実践及び普及啓発								
1	事業名	ライフスタイルの省エネ化推進事業									
	目的及び概要	省エネ化を推進するため、イベントや広報媒体を活用して、省エネ活動につながる啓発を行うとともに、市民に省エネナビ(家庭用電力使用量測定機器)と環境家計簿の普及促進を行う。	H29年度	内容	①啓発事業の実施 ②省エネコンテストの完了 ③エコポイント制度と組み合わせるなど、効果的な普及方法を検討し実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					H30年度	継続					
					H31年度	継続					
				方向性(対前年度比)	縮小	事業費(百万円)	1.0	うち市負担分(百万円)	1.0	H32年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		
2	事業名	エコオフィスプランいばらき推進事業									
	目的及び概要	市自らが消費者・事業者として取り組むべき環境配慮を徹底し、環境への負荷の少ない職場づくりを行う。平成25年3月にISO14001の認証を返上し、独自のPDCAサイクルである「エコオフィスプランいばらき(第4版)」に基づき、全庁的に取り組んでいる。	H29年度	内容	①目標年度となることから、目標値や取組内容を見直す				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					H30年度	継続					
					H31年度	継続					
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.5	うち市負担分(百万円)	0.5	H32年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		
3	事業名	「COOL CHOICE」推進事業									
	目的及び概要	政府が地球温暖化対策として、また本市においても市長を先頭に積極的に推進していくこととしている「COOL CHOICE」について、市民自らが実施する取組を募集し、優秀な取組については、HP・チラシ等に掲載することで、より広く効果的な啓発を図る	H29年度	内容	①「COOL CHOICE」コンテストの実施 ②優秀な取組の啓発				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					H30年度	継続					
					H31年度	継続					
				方向性(対前年度比)	新規	事業費(百万円)	0.2	うち市負担分(百万円)	0.2	H32年度	拡充
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	環境教育・啓発事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
	目的 及び 概要	将来を担う子どもたちをはじめとする幅広い 市民を対象に、環境に関する学習会・研修 会・観察会等を開催し、環境保全意識を高 め、環境行動につなげていく。実施にあつ ては、市が直接実施するほか、環境教育ボ ランティアや市内環境保全活動市民団体と協 働する。	H 29 年度	内 容	①小学校向け環境教育の充実 ②茨木の環境をテーマとした「身近な環境と向き合 う講座」を開催 ③様々な団体と協働で環境教育を実施するととも に、環境教育サポーター制度を運用 ④環境教育拠点の検討					H30 年度	臨時 拡充
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.6	うち市負担分 (百万円)	0.6	H31 年度
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続	
									H33 年度	継続	
5	事業名	エコポイント制度実施事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
	目的 及び 概要	環境基本計画の環境像である「心がけから行 動へ」一步踏み出すよう促すため、環境教育 への参加、省エネ行動などの環境配慮行動 を行なった市民に対し、エコポイントを発行 し、指定物品との交換等できる制度を実施 し、環境と地域の活性化の好循環をめざす。	H 29 年度	内 容	①市を事務局としてポイント発行 ②プラットフォームにおいて意見交換 ③市内事業所を巻き込んだ拡充策を検討					H30 年度	拡充
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.9	うち市負担分 (百万円)	0.9	H31 年度
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続	
									H33 年度	継続	
6	事業名	環境フェア開催事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
	目的 及び 概要	本市の環境の現状などをわかりやすく提供し、 これからの市域環境を市民とともに保全・ 創造する契機とするため、市民団体や 事業者の参画のもと、市民一人ひとりが取 組むべきことを、催し物などを通じて分かり やすく紹介し、環境への理解を深める場と する。市が、事業実施に伴う会場設営費や運 営経費などを負担する。 【関連取組:6-2-2 自然資源の利用の推進】	H 29 年度	内 容	①集客力の乏しいクリエイティブセンター3階のコー ナーを廃止し、中央公園北グランド及びクリエイ ティブセンター1・2階部分で実施 ②3階部分のコーナーについては、中央公園北グ ランドにテントを設置し、出展希望を募る ③実施日については、農業祭と同日開催し、より 効果的な集客を目指す。					H30 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	5.8	うち市負担分 (百万円)	5.8	H31 年度
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続	
									H33 年度	継続	

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	6-3-2	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進									
7	事業名	太陽光発電システム等導入推進事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
	目的 及び 概要	再生可能エネルギーの普及促進や省エネ、 省CO2を推進し、環境負荷の軽減を図るた め、太陽光発電システム、太陽熱利用シス テムを設置した市民及び家庭用燃料電池を太 陽光発電システムと同時設置(申請)した市 民にその経費の一部を補助する。また、公共 施設への再生可能エネルギーの効果的な導 入のため、国の施策や補助金等の活用を検 討し、施設担当課への情報提供を行う。	H 29 年度	内 容	①家庭用燃料電池については、太陽光発電シス テムとの同時申請を補助要件とする見直しを実施 ②再生可能エネルギーの公共施設への導入検討					H30 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	縮小	事業費 (百万円)	20.0	うち市負担分 (百万円)	20.0	H31 年度
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続	
									H33 年度	継続	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	省エネ・省CO2設備導入補助事業										
	目的 及び 概要	省エネルギー改修を実施する中小企業者に対し、市が補助金を交付することにより省エネルギー設備及び新エネルギー利用設備の普及並びに二酸化炭素排出量の削減を促進し、もって市域の低炭素化を図る。	H 29 年度	内容 ①投資額あたりのCO2削減量等、補助要件を見直しのうえ、継続	事業の方向性 の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続			H31 年度	継続
					H32 年度	継続			H33 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	12.0	うち市負担分 (百万円)	12.0	H33 年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
9	事業名	街路灯LED化促進事業										
	目的 及び 概要	既存の街路灯を計画的にLED灯に転換することにより、環境負荷の低減を図る。	H 29 年度	内容 ①計画的なLED灯への転換(目標転換率64%)	事業の方向性 の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続			H31 年度	継続
					H32 年度	完了			H33 年度	-		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	20.0	うち市負担分 (百万円)	20.0	H33 年度	-
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
10	事業名	庁舎へのLED導入事業										
	目的 及び 概要	庁舎の省エネルギー化を推進するため、年次的にLED照明設備等を導入する。	H 29 年度	内容 ①本館8階 92本 ②南館8・9階 662本	事業の方向性 の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続			H31 年度	継続
					H32 年度	完了			H33 年度	-		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	12.8	うち市負担分 (百万円)	12.8	H33 年度	-
担当課	部名	総務部	課名	総務課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
11	事業名	エコカー等導入促進事業										
	目的 及び 概要	業務の迅速かつ機動的な活動を援助するため、公用車(軽自動車、単車、自転車)を配置しているが、低公害車・電動自転車を効率的に配車することで、ガソリン等の燃料使用量を減らすとともに省エネルギーの実践に努め、低炭素なまちづくりの実現に貢献する。	H 29 年度	内容 ①環境に配慮した低公害車、電動自転車の効率的な配車により、ガソリン等の燃料使用量を減らすことにより、低炭素なまちづくりの実現に貢献するとともに、燃料費の一層の削減を図る(平成29年度歳出予算額:21,277千円)	事業の方向性 の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続			H31 年度	継続
					H32 年度	継続			H33 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	21.3	うち市負担分 (百万円)	21.3	H33 年度	継続
担当課	部名	総務部	課名	総務課	会計区分	一般	事業区分	ハード				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名 市営駐車場へのLED導入事業												
	目的 及び 概要	環境負荷の低減及び節電を図るため、市営 駐車場にLED照明設備等を導入する。				H 29 年 度	内 容	H29実施予定なし(H31・32年度実施予定)				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H30 年度	-
												H31 年度	新規
				方向性 (対前年度比)	-	事業費 (百万円)	-	うち市負担分 (百万円)	-	H32 年度	完了		
										H33 年度	-		
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-4	きちんと分別で資源の循環をすすめる
施策の方向性	資源の循環とごみの減量化を図るため、新たな分別品目の追加検討を行うとともに、市民等への意識啓発に努めるほか、処理施設については、炉の更新に向けて計画的に取り組みます。 また、市民、事業者は、ごみの発生抑制、再資源化に努め、きちんとした分別で資源の循環を進めます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	減量化の推進
	2	再資源化の推進
	3	適正処理の推進
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	6-4-1		減量化の推進												
1	事業名	一般廃棄物処理計画推進事業													
	目的及び概要	循環型社会の形成に資するため、10年スパンで「茨木市一般廃棄物処理基本計画」を策定するとともに、年度毎に実施計画を策定する。また、計画の推進に必要な事業を企画するとともに、計画事業の進捗を管理する。				H29年度	内容	①進捗状況の確認及び評価の実施 ②廃棄物減量等推進審議会の運営 ③施策の立案及び見直し				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.8	うち市負担分(百万円)	0.8	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	臨時拡充
														H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
2	事業名	家庭系ごみ減量推進事業													
	目的及び概要	循環型社会を築きあげるため、市民がごみの減量化と再資源化に関する理解を深め、3Rの取組を実行できるよう、啓発等を行う。 【関連取組:6-4-2 再資源化の推進】				H29年度	内容	①児童向け啓発冊子作成 ②出前講座の実施 ③資源物持ち去りパトロールの実施 ④廃棄物減量等推進員の活動促進 ⑤ごみ分別アプリの運用 ⑥(臨)啓発冊子の作成・配布(4.7百万円) ⑦(臨)分別回収実施説明用チラシの作成(0.2百万円) ⑧(臨)ダンボールコンポストの配布(廃棄物減量等推進員対象)(0.5百万円)				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	7.6	うち市負担分(百万円)	7.6	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	臨時拡充
	担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
3	事業名	事業系ごみ減量推進事業(ソフト)													
	目的及び概要	循環型社会の形成をめざし、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組:6-4-2 再資源化の推進】				H29年度	内容	①事業所への訪問・指導 ②廃棄物管理責任者研修会の実施 ③ごみ減量化推進懇話会の開催 ④紙ごみ分別ボックス設置補助事業の創設 ⑤適正処理の啓発パンフレットの作成				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	4.3	うち市負担分(百万円)	4.3	H30年度	継続
														H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	事業系ごみ減量推進事業(ハード)													
	目的 及び 概要	循環型社会の形成をめざし、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組:6-4-2 再資源化の推進】	H 29 年度	内容 ①必要に応じ事業所生ごみ処理機の購入補助事業の見直し	事業の方向性の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続	事業費 (百万円)		3.0	うち市負担分 (百万円)	3.0	H31 年度	継続
					H32 年度	継続			H33 年度	継続					
					方向性 (対前年度比)		継続								
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ハード						

5	事業名	生ごみ処理容器等支援事業													
	目的 及び 概要	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器等の購入費用を助成するなど、普及促進を図る。	H 29 年度	内容 ①生ごみ処理容器等の購入補助	事業の方向性の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続	事業費 (百万円)		1.3	うち市負担分 (百万円)	1.3	H31 年度	継続
					H32 年度	継続			H33 年度	継続					
					方向性 (対前年度比)		継続								
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	6-4-2	再資源化の推進													
6	事業名	再生資源集団回収報奨金事業													
	目的 及び 概要	ごみの減量及び資源の有効利用並びにごみ減量に対する市民の意識向上を図るため、自主的に再生資源集団回収を行う地域住民団体等に対し、報奨金を支給する。	H 29 年度	内容 ①報奨金支給要件の緩和及び支給区分の拡充後の事業実施	事業の方向性の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続	事業費 (百万円)		22.7	うち市負担分 (百万円)	22.7	H31 年度	継続
					H32 年度	継続			H33 年度	継続					
					方向性 (対前年度比)		継続								
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						

7	事業名	【再掲】事業系ごみ減量推進事業(ハード)													
	目的 及び 概要	循環型社会の形成をめざし、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組:6-4-1 減量化の推進】	H 29 年度	内容 ①必要に応じ事業所生ごみ処理機の購入補助事業の見直し	事業の方向性の見込み (対前年度比)		H30 年度	継続	事業費 (百万円)		(3)	うち市負担分 (百万円)	(3)	H31 年度	継続
					H32 年度	継続			H33 年度	継続					
					方向性 (対前年度比)		継続								
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ハード						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	【再掲】家庭系ごみ減量推進事業											
	目的及び概要	循環型社会の形成をめざし、市民がごみの減量化と再資源化に関する理解を深め、3Rの取組を実行できるように、啓発等を行う。 【関連取組:6-4-1 減量化の推進】				H29年度	内容	①児童向け啓発冊子作成 ②出前講座の実施 ③資源物持ち去りパトロールの実施 ④廃棄物減量等推進員の活動促進 ⑤ごみ分別アプリの運用 ⑥(臨)啓発冊子の作成・配布(4.7百万円) ⑦(臨)分別回収実施説明用チラシの作成(0.2百万円) ⑧(臨)ダンボールコンポストの配布(廃棄物減量等推進員対象)(0.5百万円)				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	(7.6)	うち市負担分(百万円)	(7.6)	H30年度	継続
												H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	臨時拡充
	担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
9	事業名	【再掲】事業系ごみ減量推進事業(ソフト)											
	目的及び概要	循環型社会の形成をめざし、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組:6-4-1 減量化の推進】				H29年度	内容	①事業所への訪問・指導 ②廃棄物管理責任者研修会の実施 ③ごみ減量化推進懇話会の開催 ④紙ごみ分別ボックス設置補助事業の創設 ⑤適正処理の啓発パンフレットの作成				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	(4.3)	うち市負担分(百万円)	(4.3)	H30年度	継続
												H31年度	継続
												H32年度	継続
												H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	6-4-3	適正処理の推進											
10	事業名	廃棄物処理施設整備調査・検討事業(ソフト)											
	目的及び概要	本市の廃棄物の将来を見据え、次期廃棄物処理施設整備について、炉の更新を含めて調査・検討する。				H29年度	内容	①(臨)循環型社会形成推進地域計画の作成 6.5百万円 ②環境省との調整等(出張旅費)				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	6.7	うち市負担分(百万円)	6.7	H30年度	臨時拡充
												H31年度	-
												H32年度	-
												H33年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
11	事業名	廃棄物処理施設整備調査・検討事業(ハード)											
	目的及び概要	本市の廃棄物の将来を見据え、次期廃棄物処理施設整備について、炉の更新を含めて調査・検討する。				H29年度	内容	平成32年度実施予定				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	-	事業費(百万円)	-	うち市負担分(百万円)	-	H30年度	-
												H31年度	-
												H32年度	新規
												H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般	事業区分	ハード				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	スマイル収集事業										
	目的 及び 概要	高年齢者及び障害者の方々の在住生活の支援と負担を軽減するため、家庭から排出されるごみをごみステーションに持ち出すことが困難な世帯に対して、決まった曜日に戸別訪問し、ごみの収集を行う。	H 29 年度	内 容	①高年齢者及び障害者の世帯のごみの戸別収集						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続					
担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
13	事業名	ごみ処理施設運営事業										
	目的 及び 概要	市域で発生した一般廃棄物を適正確実に処理するため、事故のない安全で安定した施設運営を図るとともに、効率的な運用に努める。	H 29 年度	内 容	①安全で安定した施設運営 ②代替燃料の検討をさらに進めます。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1849.9	うち市負担分 (百万円)	1849.9	H33 年度	継続					
担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
14	事業名	ごみ・し尿収集事業										
	目的 及び 概要	家庭等から排出されるごみ・資源物の効率のかつ円滑な収集を行い、減量化、再資源化を図る。また、し尿収集業務についても、円滑な収集を行い、快適な生活環境を保全し、公衆衛生の向上を図る。	H 29 年度	内 容	①ステーション方式による普通ごみ・粗大ごみ・資源物の収集 ②一般家庭及び従量、仮設トイレのし尿の収集						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1115.1	うち市負担分 (百万円)	1095.0	H33 年度	継続					
担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				